弓陵だより

第五版

弓陵会会長　齋藤 憲

弓陵会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝の事とお慶び申し上げます。平素は弓陵会活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2018 年 女子はリーグ優勝・王座ベスト 4 と好成績を挙げました。また男子も一部リーグでも十分通用する高的中で二部優勝し、その後の入れ替え戦にも勝利し一部リーグ復帰を果たしました。

12 月には多くの OBOG に参加をいただき、弓陵会会員と現役学生とが『女子リーグ優勝・男子一部リーグ昇格』の祝賀会を盛大に開く事が出来たことを、心より嬉しく思います。

従来であれば 12 月頃からシーズンオフに入り春まであまり活動をしていなかった弓道部ですが、今年は関東強豪校から 2 月の練習試合の申し入れもあり事実上シーズンオフが無い年でした。また合宿も本年より、例年の高松の体育館の道場以外に高松市内の運動公園の道場もお借りし、充実した内容であったと聞いております。

この筆を執っている時は新人戦が始まった頃ですが、本年関大弓道部は他校からみれば男女とも関西の大学の中で絶対倒したい・絶対負けたくない大学のベスト 1・2 にランクされているでしょう。関大弓道部は関西リーグでも数少ない男女共一部リーグという立場にあり、また男女ともリーグ優勝を狙える位置にあり本年度の入部者数は数十名が予測され、この弓陵だよりが発刊される頃にはおそらく部員数は過去最大になっているでしょう。

多くのライバル強豪校が事実上弓道経験者のみを入れて練習効率・試合結果を追求する昨今ですが、それは各大学の方針として尊重いたします。しかし関大弓道部の伝統として関大の弓道を一から教え、また教育の一環として弓道未経験者に門戸を開くことは決して間違っていないと考えます。

多くの課題もございますが、本年度も関大弓道部の応援・ご支援を宜しくお願いいたします。

顧問　酒井 真道

春暖の候、弓陵会会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本学弓道部の活動をご理解、ご支援くださいまして、誠にありがとうございます。

2019 年度の開始にあたり、顧問より皆様にご挨拶申し上げます。

昨年度の弓道部は、男女ともに素晴らしい競技成績を収めることができました。男子は秋のリーグ戦(二部 A リーグ)を総的中数 527 で全勝優勝、勢いもそのままに近畿大学との入れ替え戦に完勝し、悲願の一部リーグ復帰・昇格を決めました。一方、女子は王座決定戦に出場、ベスト 4 に入賞し、秋のリーグ戦(一部)では見事に全勝優勝を飾りました。これらに代表される諸戦果は弓陵会の皆様方のご支援なくしては成し遂げられなかったものです。大学を代表し、会員の皆様に厚くご御礼申し上げます。

新年度、女子は関西の諸大学を代表する「西の雄」として、一昨年度の代がそうであったように、全国の舞台でさらなる飛躍が期待されます。一方、男子は、昨年度の代の大いなる遺産を継承し、過酷な一部リーグで結果を残すことが期待されます。昨年度の男子の一部・二部リーグの入れ替え戦では、一部リーグに属する二校何れもが二部リーグに降格しており、男子リーグはまさに群雄割拠の様相を呈しています。新年度、男子は追われる立場としてこの厳しい戦いに挑まねばなりません。昇格後の一年という意味では、正念場ともいえるでしょう。

さて、顧問一年目の昨年度、私は女子王座決定戦の応援に伊勢神宮弓道場まで駆け付けました。私の左には齋籐憲・弓陵会会長が、右には宮坂大成・男子主将が座り、ともに女子に声援を送りました。準々決勝が終わった後、我々は決勝進出を確信していました。というのも、準決勝での対戦校が極めて厳しい内容で準々決勝を勝ち上がったのを見ていたからです。我が選手たちはすべてを出し切り、精一杯戦ってくれましたが、結果は敗戦に終わりました。我々は、勝って当然というプレッシャーの中での勝ち「きる」ことの難しさを痛感しました。この難しさを知った選手たちは、かけがえのない経験をしたと思います。今後につながる価値ある敗戦でした。この敗戦もまた、昨年度の代による、新チームへの大いなる遺産といえます。

このように選手たちは日々成長をしつつ、皆様方が紡いでこられた関西大学弓道部の伝統を未来へと紡いでおります。今後とも、学生たちに寄り添い、学生たちをご支援くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

監督　猪尾 康成

弓陵会 OB・OG 諸氏の皆様、平素より多大なるご支援を頂戴し、誠に有難うございます。

昨季は、前年に続き、男子は「二部優勝・一部復帰」、女子は「一部優勝・王座優勝」を目標に掲げ活動して参りましたが、見事男女ともに前年の雪辱を果たすことが出来ました。

男子は 4 勝 0 敗（平均的中 131.8 中、的中率.823＝関西第 2 位）で二部 A ブロック全勝優勝し、一部との入替戦に進出。入替戦の相手は近畿大学（平均的中 119.5 中、的中率.747＝関西第 5 位）。前年の二の舞にならぬよう平常心で臨み、131 中対 123 中とリーグ期間中の力通りの結果で、2 年ぶりの一部リーグ復帰を決めました。

一方、女子も 4 勝 0 敗（平均的中 64.3 中、的中率.803＝関西第 1 位）で 1 部全勝優勝。 2 年ぶりの王座出場を決め、頂点を目指すことになりました。王座準決勝（3 人立ち 12 射の計 36 射）の相手は別府溝部学園短大。最後の立まで善戦しましたが、27 中対 30 中で惜敗し、結果はベスト 4。頂点の夢は次年度以降の宿題となりました。

男女ともに苦しい 1 年間でしたが、部員たちの日頃の努力が報われる形でシーズンを終えることが出来たと思います。

さて、今季から男女揃って関西一部リーグに所属することになりますが、その一部リーグのレベルは非常に高く、勝利することはそう簡単ではありません。優勝するためには、男子は 140 中/160 射、女子は 65 中/80 射をそれぞれ超えるレベルが求められます。それは、現在一部校を構成している大学（男子：立命館・京都橘・天理・大阪産業。女子：大阪経済・甲南・天理・関西学院）のほとんどがスポーツ推薦入学者のみで構成されたチームになっているからです。今ではリーグ上位校の中にあって、弓道経験者と初心者の混成でのチームはとても珍しく、我が関西大学と甲南大学くらいのものなのです。

そんな環境の中でも、今季は男女ともに一部リーグ優勝・王座優勝・公式戦全制覇を目標として掲げ、「全員で感動を共有すること」、目指す過程を通じて「人として成長すること」を全部員で確認しています。また、森川先生の「私の弓道理論」を正しく理解し、技術に磨きをかけること。目の前の 1 射に集中できる安定した心を養うことを目指し、日々稽古に励んで参ります。

最後に、今季も男女合わせて 40 名を超える新入部員を迎え、部員総数は 100 名を優に超えました。部員一丸となって「常勝 関大」を実現し、新たな歴史をつくるべく日々精進して参ります。

弓陵会 OB・OG 諸氏の皆様、今季もこれまで同様、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

弓陵会副会長兼コーチ　宮本 忠依

弓陵会の皆様、日頃は弓陵会と現役部員に温かいご支援を頂きありがとうございます。
お陰様をもちまして、昨年、女子は一部リーグ優勝、王座 BEST4、男子は一部昇格と好成績を残すことができました。まだまだ成長途上のチームですが、これからもご支援を宜しくお願い申し上げます。

『弓道はオモシロイ』

一昨年の全国選抜の際、社会人 1 年目で東京在住の息子の様子を見に行くとのことで、家内も東京まで同行してきました。そして、私には内緒で、全国選抜 2 日目の決勝トーナメントを息子と共に見学に来ていました。女子が全国選抜初優勝を飾った大会です。競射や逆転勝ち、1 本差の僅差の勝利を制して優勝した大会でした。2 人とも弓道の試合観戦は初体験でした。
家内と息子いわく「弓道ってエキサイティング」「ドキドキした」「緊張感が凄かった」
「もちろん関大を応援した」「関大女子かっこよかった」「感動した」と。そう、弓道は感動するものなのです。感動を共有できるものなのです。
それと驚くことに、「男子は迫力が違うよね」「法政とか日大とか凄かったね」と。オーラというものなのか。全くの素人が見ても強豪校はわかるようです。
そして「弓道はオモシロイ」と、そう弓道は面白いのです。

『試合観戦のススメ』

最近は、試合応援に来てくださる OBOG が増えてきました。ありがたいことです。関大弓道場の防音壁には透明ポリカ板が貼られて観戦スペースができています。他大学の弓道場でもほとんどの道場で応援することができます。もちろんアリーナでの試合もあります。昨年は、伊勢での王座、女子のリーグ優勝、男子の入替戦勝利、多くの試合で、応援に来て下さった OBOG と感動を共有することができました。顔を紅潮させ皆でがっちりと握手をした感触が忘れられません。そして試合後の飲み会。勝っても負けても飲み会。飲み会では、現役時代の思い出も蘇ります。

弓陵会の会員の皆さん、老いも若きも誘い合わせて、ぜひ試合観戦へ。世代を超えて感動を共有しましょう。

試合の予定は、弓道部のホームページやツイッターに随時掲載しておりますので、ぜひ試合観戦にお越しください。

『感謝！！』

新たに 12 名の弓陵会会員が誕生しました。男子は 4 年間入替戦を経験し、女子は 4 名で奮闘してくれた、苦労した学年です。彼ら彼女らから多くの感動を貰いました。『感謝』。

社会に巣立つ彼ら彼女らが、この 4 年間の経験を糧にして社会で活躍してくれること、そして幸多きことを願ってやみません。

新幹部紹介

主将　岡田 将吾（四）

今年度関西大学体育会弓道部主将を務めさせていただきます、岡田将吾です。日頃より温かいご声援並びに多大なるご支援、誠にありがとうございます。昨年度は男子は一部復帰、女子は王座出場という好成績を残すことが出来ました。このいい流れを止めることなく、今年こそは、男女ともに王座優勝を成し遂げるべく全員で努力していきます。そして、関大弓道部としてのプライドを持って先頭に立ち、部を引っ張っていきます。今後ともご支援ご声援のほど、よろしくお願いします。

女子主将　岩本 真奈（四）

今年度女子主将を務めさせていただきます、岩本真奈です。昨年まで先輩の大きな背中に着いて行き、それを信じて様々な経験、結果を残すことが出来ました。今年は自身の大学弓道の集大成であり、私が部員を引っ張る立場です。偉大なる先輩達になれるよう自分らしく最後まで突き進んで行きたいと思います。今年度、私たちは「部員が弓道部としての活動を通じて、全員で感動を共有すること、そして、人として成長を遂げること」を目的として活動します。自分たちの日々の努力や結果を通して、より多くの方々に恩返し出来るよう頑張ります。また、人として、選手として成長していきますので、今後ともご支援、ご声援のほどよろしくお願い致します。

副将　石川 智大（四）

今年度、関西大学体育会弓道部男子副将を務めさせていただきます石川智大と申します。昨年度は、目標である一部昇格を果たすことができました。この勢いのあるまま、現状に満足せずにさらなる高みへのチームや自分自身、様々な面で強くしていきます。ご声援の程よろしくお願いいたします。

女子副将　村田 由佳（四）

本年度関西大学体育会弓道部女子副将を務めさせていただきます、村田由佳です。今年の目標は、自分が在籍した証を多岐にわたって残すことです。私は昨年から的中データの管理を中心に、各データのフォーマットを作成してきました。選手として貢献することはもちろんですが、自分の得意を生かして今後の弓道部に役立つ物を一つでも多く残したいと思いますので、宜しくお願い致します！

主務　塩見 遼太（四）

今年度体育会弓道部男子主務を務めさせていただきます塩見遼太です。男子主務として、最後の１年としてこの部活が円滑に活動できるように尽力します。
また、次の世代のためにも私がこの弓道部からいただいたものを後輩たちに伝えていき、この部活を継続的に強い部活になるようにしていきます。

女子主務　服部 美咲（四）

こんにちは、今年度関西大学体育会弓道部女子主務を務めさせて頂きます服部美咲です。時の流れは早く、あっという間に自分が最上回生の４回生になりました。これからは、部の目標であるリーグ戦優勝、王座優勝に向けて部員が他の事で気にすることがないように全力でサポートしていきます。また、私自身も残り１年後悔を残さず、笑顔でこの部活に入ってよかった、やりきったと思えるように職務を精一杯全うしていきます。
これからもご指導・ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

幹部補佐　青木 聖隆（三）

今年度、関西大学体育会弓道部幹部補佐を務めさせていただきます青木聖隆です。「真面目にやっていたら報われる」ということを信条に生きているので、誰よりも真面目に誠実に過ごします！昨年度は留学で弓道部に貢献できなかったので今年度は精一杯頑張ろうと思います！よろしくお願いします！

幹部補佐　津田 純平（三）

今年度幹部補佐を務めさせていただきます、三回生の津田純平です。私達の今年の目標は日本一です。そして私の目標は、関大といえば津田純平！になることです！そのために日頃の練習、生活から日本一にふさわしい行動ができる人となります！日頃のおバカ純平君はほどほどにして、チームを引っ張っていきたいと思います！今年度も変わらぬご声援のほどよろしくお願いします！

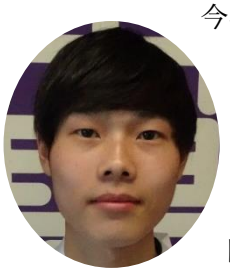
幹部補佐　濵 硯亜（三）

今年度関西大学体育会弓道部幹部補佐を務めさせていただく濵碩亜です。私の取り柄は今までのどんな習い事のスポーツや部活を全て不屈の精神でやり抜いてきたことです。上手くいかないことが起きてもそれをバネにし、学んできたことを活かしてこの部活をより良くできるよう貢献していきます！よろしくお願いします！

幹部補佐　森田 華帆（三）

今年度幹部補佐を務めさせていただきます、森田華帆です。私は寝る前に次の日の予定を考えることが習慣の一つです。この習慣を自分自身のことだけでなく、部へもベクトルを向け、先を見据え今すべきことを理解し行動できるようになっていきます。コツコツと努力し続け、部の目標達成に貢献できるよう頑張ります！

主務補佐　林 和輝（三）



今年度主務補佐三回生の林和輝です。私は身体が細過ぎると周りからよく言われます。身長も小柄で体重も 50 キロ前半ほどしかありません。中学一年生の頃は身長が 136 ㎝しかなく、手が小さすぎて手に合ったサイズの弾がなく、グローブで弓を引いていました。今年こそは毎日炭水化物をたくさん摂取して、4 回生までには 60 キロまで増量したいです！フィジカル面を強化して、日本一に貢献したいと思います！

主務補佐　大前 美穂（三）

今年度主務補佐を務めさせていただきます、大前美穂です。名前は大前ですが、のんびりした性格なので、個人的には大落など後ろの方が落ち着いて出来て好きです。初心者メンバーとしても、主務補佐としても、部の発展を目指してサポートしていきます。

2018年第42回
全日本学生弓道女子 王座決定戦

平成30年11月25､26日に行われた第42回全日本学生弓道女子王座決定戦において女子がベスト4となりました。

王座第1戦

	関西大	信州大
1立目	9	8
2立目	10	5
3立目	9	8

先攻 関西大学28中―後攻 信州大学21中

1立目では1中差だったが、2立目には10中を出し相手にプレッシャーを与え、張り詰めた緊張感の中終始相手にリードを許さず確実に勝利をつかみ取った。

王座第2戦

	関西大	別府溝部学園短期大
1立目	10	11
2立目	8	9
3立目	9	10

先攻 関西大学27中―後攻 別府溝部学園短期大学30中

相手は第1試合19中、第2試合22中という結果であり、このままいけば関西大学が勝利すると思われていた。しかし、相手はここにきて調子を上げ、それに対しメンバーの鈴木、金井、岩本が奮闘するも差を縮めきれず惜しくも敗れた。

金井 茉緒（H30年卒部生）

自分の力で王座に行くということは､私が3回生に上がる頃からずっと言い続けてきた目標でした。平成28年度に女子が王座で準優勝をした際、当時のメンバーの方々があの大舞台で戦っているところを見て深く感動し、自分もそうなろうと誓ったことを、つい昨日のことの様に思い出せます。

あれから2年が経ち、同じ場所で弓を引けたことや、緊張で震えながら引いた最初の四ツ矢が中ったこと、私が抜いても中ててくれるチームメイトがとても心強かったことなど、思い返せば切りがないほど、たくさんの生涯忘れない思い出を残すことができまし た。

結果はベスト４となってしまいましたが、私個人としては悔いの残らない4年間だったと感じています。

これから部を背負って行く後輩たちに、私がもらったような希望や目標を少しでも見せることができていれば嬉しいです。

～一言コメント～

福岡 彩女(H30 年卒部生)

共に励んできた仲間が王座の舞台で輝く姿を見ることができ、胸が熱くなりました。

服部 美咲(四)

選手を支える側として行きましたが、来年自分がここに立ちたいという思いが増しました。

大前 美穂(三)

王座という大舞台を実際に見て､「いつも通り」の難しさ、１本の大切さを改めて痛感しました。

鈴木 江梨香(二)

大学弓道で最も大きな試合に立ち会うことができた喜びを感じるとともに、今後の目標を再確認することが出来ました。

角 朋香(二)

伊勢の地で堂々と弓を引くメンバーの方々の凛々しい姿を目にし、自分が鳴きという仕事を通じてチームの勝利に携われたことをとても誇らしく思いました。

2018 年東西対抗戦

11 月 24 日に第 64 回東西学生弓道選抜対抗試合が伊勢神宮弓道場にて行われました。結果は東軍 183 中、西軍 166 中で東軍が 2 年連続 51 度目の優勝、西軍は準優勝となりました。

また、11 月 26 日に同所にて第 42 回女子東西学生弓道選抜対抗試合が行われました。結果は東軍 158 中、西軍 153 中で東軍が 4 年連続 28 度目の優勝、西軍は準優勝となりました。

関西大学弓道部より、西軍の先発メンバーとして出場した 3 名にコメントをいただきました。

満壽 直毅（H30 年卒部生）

この度、東西に出場することができました。大学弓道を伊勢で終えられたことをとても嬉しく思います。しかし、同時に悔しさも残りました。1 本目を 8 時に抜き、続く 2 本目も 8 時に抜き、3 本目は 9 時ギリギリに中るも、4 本目もこれまた 8 時に蹴られて抜いてしまいました。その後は初立ちが嘘だったかのように中り続け、20 本目は「今できる最高の射」をしようと意識して中てました。勿体無いことをしたなという思いはありますが、何はともあれ、自分らしい射ができたので良かったと思います。たくさんのご声援、誠にありがとうございました。

鈴木 江梨香（二）

個人十傑の選手の方々が集まった緊張感のある環境の中で引くことができ、とても楽しかったです。メンバー練習では上手くいかず的中が下がってしまうこともありましたが、これまでの反省の中に挙げられた課題と、ご指導して頂いたことをもとに最後まで引くことが出来ました。どの試合も応援してくださった方々の存在が大きく、多くの人に支えられていることを実感しました。本当にありがとうございました。今後も新たな目標に向けて日々精進して参りますので、応援の程宜しくお願い致します。

岩本 真奈（四）

関西の上位として、自分の手でこの大会への出場を掴みとった試合でしたが、自分の力を十分に出し切ることが出来ず、大変悔しいものとなりました。しかし、あと１年あるので、また自分の弱い部分や課題と向き合い、来年もこの大会へ出場出来るよう励んでいきます。早いもので、最後の大学弓道の年です。一試合一試合悔いの残らない大会にできるよう楽しみながら、頑張っていこうと思います。

2018 年女子リーグ戦

【女子リーグ第一戦】
京都橘大学 54 中―関西大学 64 中
3 立目に 16 中を出す
続く 4 立目に 11 中を出し崩れたが快勝。

【女子リーグ第二戦】
大阪経済大学 56 中―関西大学 65 中
3 立目でまたも 16 中を出す。この立まで 15-14-16 と好調。
最終立に 8 中を出してしまうが勝ちを掴み取った。

【女子リーグ第三戦】
天理大学 53 中―関西大学 64 中
コンスタントに好的中を出し、相手との差を広げ快勝
「途中で緩んだ空気を出してはいけない。」前試合後の円陣での長川(主将)の言葉が生きた。

【女子リーグ第四戦】
和歌山大学 54 中―関西大 64 中
2 立目まで 22 中対 22 中と接戦に思えたが、
3 立目から差を広げてそのまま快勝。

よって一部リーグ優勝ならびに
王座進出が決定！

髙平 愛花（二）

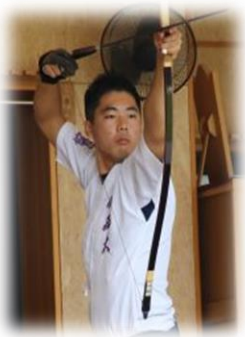
今シーズンのリーグ戦、対京都橘大学戦と大阪経済大学戦に出場させていただきました。ド緊張しながら出場させていただいた試合では、練習の的中が本番では出すことができず、とても悔しかったです。今年度リーグ戦を引かせて頂いた経験は、とても大きかったです。これからの１年で一回りと言わず、何重にも大きく成長し、来年のリーグ戦では柱となるような選手に成長し、王座の舞台で優勝する事が目標です。沢山の方々から応援や色々な面で刺激を貰い、背中を押してもらった熱い想いのある試合でした。感謝の気持ちでいっぱいです、ありがとうございました。

長川 佳菜子（H30 年卒部生）

昨年のリーグ戦は、男女共に最後まであきらめることなく戦い抜くことができたと思います。1 か月以上もの長い期間、調子を保ち続けることは簡単なことではありませんが、全員の勝ちたいという強い気持ちが、男女リーグ全勝優勝という結果を生み出したのだと思います。女子は、初立から勢いよくスタートを切り、相手に差をつけ勝つことが出来ました。最終戦では、普段とは違う緊張感がある中で試合が開始し、相手のペースに飲まれそうになりました。しかし、応援してくれる仲間を信じ、自分たちの力を信じて、試合を立て直し、勝つことが出来ました。今回のリーグ戦を通じて、やはり勝つためには部員全員の力が必要だということを改めて感じました。苦しい時もあるかもしれませんが、その度に仲間の顔を思い浮かべ、自分たちの力を信じて頑張ってください。

2018 年男子リーグ戦

夏合宿を経て、リーグ戦に向けての準備は着々と進み、メンバー練習では 140 中を上回る数字が出るようになった。チームは良いムードでリーグ戦第一戦対同志社大学戦を迎えた。
試合前の円陣で、主将の宮坂は「相手の的中は気にせず、自分達の力を出し切ること」とチームを鼓舞した。
しかし、結果は勝利したものの 126 中。到底満足のいく結果ではなかった。
この悔しさを胸に、第二戦対神戸大学戦に臨んだ。誰もが第一戦より気合が入っていた。
だが、またもや勝利するも安定した的中が出ず、128 中に終わる。
誰もがこのままでは入れ替え戦で勝てないと危機感を持った。
試合後の円陣では、悔しさと焦りから空気が張り詰めていた。自分と向き合う時間が必要だった。
その後の練習では気持ちを一新して取り組み、むかえた第五戦対大阪大学戦。的中を伸ばさなければならないという一心で挑んだ。
結果は岡田、満壽が 20 射皆中で、135 中に的中を伸ばし、勝利した。
しかし、目指すは 140 中以上であり、その力があることは自分達が一番わかっている。そのような葛藤を持ち、むかえた 10 月 14 日の練習試合対立命館大学戦。津田、岡田、満壽が皆中し、145 中を記録。一部の立命館大学を圧倒した。自分達の力を証明することができた。
チームは勢いに乗り、第四戦対桃山学院大学戦で 138 中と的中を少し落とすも、リーグ戦最高的中を叩き出し、勝利。手応えを感じた。
チームはこの勢いのまま、入れ替え戦へと向かった。



津田 純平（三）

リーグ戦全試合、前立ちの大落として存在感を誇り、安定した的中は周りに良い影響を与えました。リーグ戦第一戦対同志社大学戦では 20 射皆中でチームに大いに貢献しました。

～以下コメント～

私達は昨シーズンのリーグ戦で、1 部昇格という目標を掲げ、それを成し遂げることが出来ました。私達は昨シーズン、1 本差で敗れた対関西学院大学の入れ替え戦の悔しさを胸に、苦しく、厳しい練習を乗り越えてきました。その成果が、1 部昇格という形で実現出来たことが大変嬉しく思います。

私自身の目標は、1 回生の時の自分を超えることでした。私は 1 回生の時 80 射 73 中という結果で、昨シーズンは 80 射 74 中という結果を残し、目標を達成することが出来ました。しかし、東西出場をかけた競射で 1 本差で敗れ、東西出場は叶いませんでした。試合後コーチに言われた、「1 本に泣くシーズンだったな。」という言葉を糧として、今シーズンは勝負強さのある選手になりたいと思います。

宮﨑 航一（H30 年卒部生）

チームの悪い流れを断ち切れる頼られる存在でした。リーグ戦第二戦対神戸大学戦では、3 立目後立の落前にリリーフを任され、12 射 11 中を叩き出し、チームに流れを引き寄せました。

～以下コメント～

僕はこの試合中に弓道部を代表して弓を引いているなら、この 1 本の重さはどれくらいなのだろうと少し変なことを考えていました。応援してくれている部員がこの 1 年間練習に費やした時間や努力、猪尾監督や宮本コーチ、指導していただいた先輩の教えが全て詰まっていると考えるととても 1 本の矢の価値はとても重く、全員の期待に応えられるように責任を果たそうと思いながら試合で引いていました。

2018年男子リーグ戦入れ替え戦

2年振りの一部昇格をかけた一戦。普段のメンバー練習や練習試合で出していた的中を考えると勝利する自信はあったが、前年度の経験からかメンバーから油断は感じられない。しかし空気が重かったりするわけではなく、休憩中も笑顔が見られた。円陣では、4年連続で入れ替え戦を経験する主将の宮坂大成(平成30年卒部生)が緊張した面持ちで話していたが、その顔は力強かった。

試合は近畿大学の先攻で始まり、関大は1立目で前立14中、後立13中と順調な滑り出し。続く2立目では前立が10中と崩れてしまうが、3立目で14中と持ち直す。ここから接戦が始まり、僅差のまま最終5立目に入った。矢が1本中るたびに「よし！」の声が道場内に響き渡り、応援にも熱が入る。だが、ここで前立が10中を出し、一同に緊張が走った。しかし後立が粘りを見せ15中を出す。判付け係も声を枯らしながら皆中コールを3回行った。

こうして無事に勝利し、一部昇格を勝ち取ったわけだが、ここまでは楽な道のりではなかった。前年度は勝利が確実だと思われた入れ替え戦に負け、平成30年度は府選、関選、インカレとどれも思うように結果が残せなかった。しかしメンバーは諦めずに練習し、リーグ形式で関大弓道部史上最高的中を出すなど成長を続け、何とか勝利を掴んだ。

次ページでは2年連続で入れ替え戦に出場した平成30年度卒部生3名からのコメントを紹介する。

	近畿大学			関西大学		
	前立	後立	小計	前立	後立	小計
1立目	11	10	21	14	13	27
2立目	14	14	28	10	14	24
3立目	14	13	27	14	14	28
4立目	11	13	24	13	14	27
5立目	15	8	23	10	15	25
合計	65	58	123	61	70	131

宮﨑 航一（H30 年卒部生）

「昨年の入れ替え戦では僕が敗因を作ってしまい、今年はなんとしても自らの手で一部に昇格させなければならないと責任を感じていました。この 1 年間は昨年できなかった「どんな時でも同じ射で的中させ、精神的にも安定した選手になること」を課題とし、入れ替え戦に勝利することのみ考え、練習していました。その結果、入れ替え戦に勝利し、一部に昇格できて本当に良かったです。」

満壽 直毅（H30 年卒部生）

「勝てて良かったです。
現役の皆さん、上がるの大変だから、もう 2 部に落ちないでね☆」

宮坂 大成（H30 年卒部生）

「本当に勝って終われて良かったです。
リーグ残留した 1 年前からチームとしても個人としてもさらに成長できた年になったと思います。来年は再び王座に向けての 1 年になると思いますが、陰ながら応援しています。
ありがとうございました。」

試合後の円陣では勝利を喜び、大空を超えてを歌った後、当時の 4 回生及びコーチを胴上げして、入れ替え戦は幕を閉じた。これからはリーグ優勝、王座優勝に向けて現役部員は、更なる努力をしていかなければならないし、部員達もそのつもりである。

～部員からのコメント～

織田 丈一朗（四）

今までに無いくらい熱い声援がメンバーを後押ししてくれました。4 回生の底力を感じました。

塩見 潤人（二）

とても緊張しました。自分は応援する側でしたが、部の勝利を目指して進もうという心により部全体が一つになったと感じました。

谷口 諒甫（二）

今までで一番応援の声が大きかったと思います。勝利が決まった時の宮坂さんの涙は忘れられません。

2018 年第 66 回
全日本学生弓道選手権大会

８月 13、14、15 日に、日本ガイシホールにて第 66 回全日本学生弓道選手権大会が行われました。関大弓道場でのインカレ予選を通過した宮坂（H30 年卒部生）は、前日に行われた男子団体戦がベスト８に終わった悔しさを胸に、実力を発揮しました。観客席から部員が見守る中、入賞確定の八寸４本目まで駒を進めました。惜しくも５本目を抜き、そのまま４～６位決定の遠近競射へ突入。そこで底力を見せ、見事全国５位を勝ち取りました。
まさに関大が全国へ通じていると実感しました。

宮坂 大成（H30 年卒部生）

入賞できた時は喜びと感謝の気持ちでいっぱいでした。1 回生の頃から個人予選を通過していましたが 3 回とも入賞できていなかったので、最後は結果を出せるよう臨みました。射詰めでは常に集中することができ、矢が的中するたびに聞こえた矢声はとても力になりました。優勝できませんでしたが、精一杯やりきることが出来ました。名古屋会場まで足を運んでくださり、 応援してくださった、弓陵会の皆様誠にありがとうございました。

男子は予選を 16 中で通過し良いスタートを切りました。一方女子は健闘しましたが、7 中で 1 本足りず、まさかの予選敗退。男子決勝トーナメント対関西学院大学戦では、13 中と崩れるも、関西学院大学も 11 中と崩れ僅差で勝利。3 回戦明治大学戦では本調子が出ず、14 中対 17 中で敗れました。

2018 年第 62 回関西学生弓道選手権大会

団体３位入賞

平成 30 年 5 月 26、27 日に行われた第 62 回関西学生弓道選手権大会において関西大学 B チームが女子団体の部で 3 位に入賞しました。B チームは大前 岩本真奈、落前 坂田陽子、大落 村田由佳で編成されており、代表で坂田陽子さんからコメントを頂きました。

第１回戦		
関西大 B	10(5)―10(3)	関西大 C

第２回戦		
関西大 B	11－8	天理大 A

準決勝		
関西大 B	7－9	大経大 A

3 位決定戦		
関西大 B	9－8	天理大 B

坂田 陽子(四)

団体 3 位入賞した昨年度の関西学生選手権大会について、僭越ながら書かせていただきます。この経験は私にとってとても印象深いものとなっています。当時のチームは同期部員で構成されていたため、そのチームで入賞を果たせた感動は大きなものでした。また、私はメンバー外としての期間が長かったため、公式戦で入賞というこの経験は自身にとっての励みになりました。今年は最後の年となりますが、この経験を糧の１つとして部の目標達成のためにも邁進していきます。

2018 年第 41 回総合関関戦

10 年振りに関西大学が総合優勝を果たした第 41 回総合関関戦では、弓道部も勝利した。新人の部では負けたものの、女子の部、男子の部で勝利し、総合勝利を勝ち取った。

井上 裕文（二）
SF として入部。
1 回生ながらも男子の部に出場し、勝利に貢献した。
以下コメント。

試合前の円陣での先発発表で宮坂さんから後立の大前に指名されました。それまでは自分は選ばれるのか不安でしたし、大学での試合経験が少なかったことから朝からとても緊張していましたが、選ばれたので部の代表として 20 本全部詰めてやると決めて関大プレートを付けました。そして先攻関大で試合が始まり、前立が 13 中、後立 14 中でいいスタートが切れ、続く 3 立目で前立、4 立目で後立が皆中を出し関西学院大学を大きく引き離し最終の 5 立目では前立、後立合わせて 26 中、合計 140 中で関学大に 15 本差をつけて圧勝できました。しかし個人では 20 本詰めることが出来ず先輩方に迷惑をかけてしまった試合でした。

これからは自分がチームを引っ張って的中を出していけるように日々稽古に精進していきます。

2019 年 5 月関西学生弓道新人リーグ戦

関大は新人戦 2 年連続準優勝。今年こそは優勝という想いを抱いてシーズンを迎えた。しかし毎日行われるメンバー練習での的中は上下しており、その主な原因として初立に崩れやすいことが挙げられていた。『的中が出なくても深刻に考えなくてもいい。新人の場合は次の日のことは分からない。』と、猪尾監督は仰っていた。一抹の不安を抱えながらも二回戦、三回戦を無事突破し、ブロック内決勝の京都橘大学戦に進んだ。練習試合で勝った相手だったが、油断はしていなかった。しかし、課題としていた初立に 14 中と崩れてしまった。それでも 2 立目、3 立目と持ち直し、4 立目で逆転した。1 本差で迎えた最終立で関大 16 中、京都橘大学 17 中で同中競射となった。皆が見守るなか、関大の先攻で始まり、関大 6 中、京都橘大学 10 中で京都橘大学の勝利が決まり、関大の新人戦は幕を閉じた。

今回は新人戦全試合で落を務めた増田哲也にコメントをもらった。

増田 哲也(三)

『今年度の新人戦では、落をずっと引かせて貰いましたが結果としては個人としてもチームとしても納得のいかないものでした。自分の実力が発揮できた試合よりも、いつもの的中が出せず落としての仕事を果たせなかった試合の方が多く、まだまだ自分が未熟であるということを思い知らされました。新人戦は終わりましたが、今後も選手権、リーグ戦と試合は沢山あり、シーズンはまだまだ始まったばかりです。立ち止まっている暇は無いのでこの悔しさを糧に成長していきます。応援よろしくお願いします。』

2018 年夏合宿

８月 30 日から９月５日に毎年お世話になっている長野県の弓道場にて夏合宿を行いました。１回生にとっては初めての合宿、４回生にとっては最後の合宿となります。朝から晩まで弓道に打ち込める環境の中で部員たちは各自目標を決め練習に取り組みました。リーグ戦を控えたメンバーは鳴きがある本番さながらの対戦形式の練習を行いました。

2019 年春合宿

２月 26 日から３月４日に香川県に赴き主に新人戦に向けた練習を行いました。コーチや OB の方も合宿に来てくださり、ご指導をいただけました。毎日目標をたて振り返りをすることで、自分の課題と向き合いました。合宿後半には部内戦を開催し、各チーム明るい雰囲気を大事にしながら優勝を狙いました。

2019 年三十三間堂　通し矢

2019 年 1 月 13 日に通し矢が行われました。２回生は個性を出した晴れ着を身にまとい、そのカッコよさ、美しさに私たちは魅了されました。今年も多くの屋台が軒を連ね、全国から押し寄せる新成人に三十三間堂は大盛り上がりでした。

祝賀会

12 月 8 日、ヴィアーレ大阪にて女子リーグ優勝・男子一部昇格結果報告会及び祝賀会を弓陵会 OBOG の方々のご厚意で開いて頂きました。

式では弓道部の 1 年間の軌跡をたどるビデオが上映され、戦績を改めて実感するとともに熱いものがこみ上げてきました。お忙しい中多くの方々にご出席賜り、祝福のお言葉や激励を頂き部員一同充実した時間となりました。

またこのような会を開いていただけるよう、部員一同精進して参りますので応援の程よろしくお願いいたします。

参加いただいた OBOG の方々よりコメントを頂きました。

田中 大二様（S32 年卒部生）

我々が思いもつかないような戦績に驚きました。昔は 130 中はまず出せず、120 中で良く当たったほうでした。最近何度か道場に寄らせてもらい、一生懸命やっているのを見て、みんなが真剣な大学だと思っています。今回の結果は本当に嬉しいです。これからも頑張ってください。

杉岡 茂孝様（S60 年卒部生）

念願の男子一部昇格おめでとうございます。去年は関学との 1 本差で悔しい思いを味わいました。この悔しさを払拭するような結果がでてよかったです。

近藤 加奈子様（H29 年卒部生）

男子が一部昇格、女子が一部優勝したことは本当に嬉しくて、よかったと思いました。ビデオを見ても、この 1 年間みんなが努力してきたことがよくわかりました。実際にリーグ戦の応援には行けなかったけれど、結果をとても楽しみにしていました。去年はダメでどうなるかと思っていたし、1 年間みんなの頑張りを近くで見ることはできなかったけれど、わくわくさせてくれて、立派な結果を出してくれて嬉しかったです。本当にありがとうございます。離れていますが応援しているので今後ともぜひ頑張ってください。

2019 年卒部式・懇親会

3 月 16 日に関西大学弓道場、ヴィアーレ大阪にて卒部式と懇親会が行われました。

卒業記念射会では、
現主将岡田将吾、
現女子主将岩本真奈
による矢渡しの後、
卒部生の方々による一手行射が行われました。

最後は
前主将宮坂大成と前女子主将長川佳菜子による
納射が行われました。

その後ヴィアーレ大阪に移動し、
卒業証書授与式と、OB・OG の方々からの記念品
の贈呈が行われました。

齋藤会長、宮本コーチより熱のこもった祝辞を頂きました。送辞では現役生を代表し現主将岡田将吾が卒部生の方々への感謝を伝えました。答辞は前主将宮坂大成さんからいただきました。卒部生の方々の弓道部での日常、試合を振り返る思いのこもったビデオ上映がされました。

祝宴の前に新幹部の紹介が行われました。

美味しい料理を食べつつ、卒部生の方々との会話を楽しみました。

食事の後、現役生から卒部生に向けて
歌を贈りました。歌は「流れゆく雲を見つめて」、2 月からみんなで集まり練習を重ね、この場で卒部生への感謝を込めて精一杯歌い切りました。

そして、現役生から花束、アルバム、心のこもった色紙などが贈られました。
またコーチにより木札授与が行われ、卒部生一人一人に向けたメッセージに笑みを誘われました。

ご出席いただいた酒井先生、宮本コーチ、沢山の OB・OG の方々に見送られ、総勢 12 名が弓道部を卒部されていきました。

平成 30 年卒部生紹介

様々な個性が調和し、明るく賑やかな雰囲気の弓燁会。
雰囲気の切り替えや物事に取り組む姿勢は影響力を持ち、この部活を成長させてくれました。人数は少ないながらも１人１人存在感があり、その背中はとても大きく見え、尊敬できる方達でした。幹部を中心として弓燁会全ての方にこの部活を支えていただきました。
またいつでも道場にいらしてください。
部員一同お待ちしております。

①趣味
②弓道部に入ってよかったこと
③つらかったこと
④自分の役職でよかったこと

卒部生コメント

主将　宮坂 大成

①神社巡り(2018 年 12 月から御朱印集めを始めた。)
②たくさんの人に出会い、様々な経験をさせてもらったこと
　一部に昇格できたこと。
③団体や個人の結果が出ないとき。
　選手選考やリリーフはつらいというよりは難しかった。
④一部昇格を果たせたこと。

女子主将　長川 佳菜子

①音楽鑑賞
②かけがえのない 4 年間を過ごせたこと。
③ないです！！
④人とは違う経験ができたこと。

副将　三好 航

①ゲーム・スポーツ観戦
②一緒に笑ったり、泣いたりできる仲間ができたこと。
③3 回生で入れ替え戦に負けたこと。
④周りを見ることや、考えて行動することができるよう
　になったこと。

主務　齋藤 一

①映画鑑賞・読書
②自分を含め、人が成長する瞬間を見られたこと。
③同じゴールを集団として目指すことの難しさを知った。
④今までの人生では経験できなかったことをたくさんできた
　こと。

①読書・ゲーム・猫の観察
②つらかったことも楽しかったことも一生忘れない４年間になったこと。
③早起き
④部の運営を通じていろんな立場の人と関わることができたこと。

女子主務　金井 茉緒

①web サイト作成
②交友関係が広がったこと。
③出費が多かったこと。
④斜面用の㯳を布教できたこと。

新人監督リーダー　満壽 直毅

①散歩
②１つのことに夢中で取り組むことの大切さを学べたこと。
③4 回生の夏に一気に調子を落としたこと。
結果を残せなかったこと。
④教えてきた子に今までのお礼を言われたこと。

新人監督副リーダー　池田 太朗

①甘いものを食べること・映画鑑賞
②これまでの人生の中で１番熱中するものに出会えたこと。
③後輩が一部で戦える回数を減らしたこと。
④後輩の成長を自分のことのように嬉しく感じるし、それが自分の頑張るモチベーションにつながること。

新人監督　武田 誠

①買い物・ドライブ
②多くの先輩や後輩、同期に出会えたこと。
③なかなか試合で活躍できなかったこと。
④初心者の子が練習してうまくなるところ、活躍する場面を１番近くで見られて一緒に喜べたこと。

新人監督　桝井 泰輔

①アニメ鑑賞・ゲーム・友達と遊ぶこと。
②猪尾監督や宮本コーチから成功するための考え方や人として正しくあろうとする姿勢を学ぶことができたこと。
③2 回生冬に耳を払い続け、右耳が大きくなってしまったこと。
④後輩に指導するために勉強したことが自分の結果にも繋がったこと。その後輩も少しずつ成長している姿を見られること。

新人監督　宮﨑 航一

①パン作り・化粧品集め
②人前で話すことが得意になり、いろんな部活の人と交流を深めたりすることができたこと。
③たくさんあったが、１番は同期が辞めてしまったこと。
④自分が指導した子がメンバーになったり、試合で活躍したりする姿を見られたこと。

新人監督　立川 咲子

①おいしそうな食べ物を見ること。
②たくさんの人に出会い、刺激を受けたこと。
③思うように弓を引けなかったこと。
④後輩が成長する姿を身近に見られたこと。

新人監督　福岡 彩女

2019 年新入生歓迎コンパ

令和元年５月５日にレストランチルコロにて、新入生歓迎コンパを開催しました。
新入生は弓道部の正装を身にまとい、緊張しながらも自己紹介は大きな声でやり遂げてくれました。冒頭に行われた、酒井先生のお話は新入生のみならず、全部員の心に響いたと思います。また、新入生は初めて全部員と共に、学歌、応援歌、逍遥歌を歌い上げ、少し硬い表情で独特な雰囲気を体感していました。
今年の新入生は練習意欲が高く、入部前から道場に通う姿が多く見受けられます。フレッシュな空気が道場内を明るくし、我々も負けじと稽古に取り組む日々です。
今後の新入生の成長にご期待ください。

新１回生紹介

名前	学部	出身高校
足立　拓馬	社会	奈良県立平城高校
岩上　朋弘	経済	兵庫県立宝塚北高校
岩谷　陽	社会	兵庫県立東灘高校
上谷　建斗	社会	私立仁川学院高校
上野　康生	社会	私立近畿大学泉州高校
海野　遼太	社会	西宮市立西宮東高校
岡　衛門	社会	大阪府立山田高校
神代　雄大	文	私立六甲学院高校
坂田　康樹	経済	私立上智福岡高校
佐藤　慎也	システム理工	奈良県立高田高校
清水　亮	システム理工	京都府立福知山高校
菅野　竣介	システム理工	京都府立莵道高校
高橋　優介	法	奈良県立橿原高校
田熊　健太	化学生命工	鳥取県立倉吉西高校
田宮　雅貴	システム理工	京都府立洛西高校
坪田　竜司	社会安全	私立北陸高校
永森　結祐	システム理工	大阪府立守口東高校
林　信吾	システム理工	大阪府立高津高校
藤井　一眞	文	奈良県立奈良高校
藤澤　勇亮	システム理工	姫路市立飾磨高校
三浦　碩人	システム理工	私立大阪星光学院高校
森口　渓太郎	システム理工	関西大学高等部
吉田　卓磨	社会	静岡県立浜松湖南高校
足川　茉南	法	神戸市立葺合高校
今村　彩乃	社会	京都府立西城陽高校
上田　みなみ	化学生命工	福井県立藤島高校
岡崎　小夏	経済	徳島市立高校
奥野　早紀	化学生命工	京都府立洛北高校
酒井　美咲	法	関西大学高等部
柴田　妃菜	社会	関西大学高等部
龍見　璃胡	商	兵庫県立伊丹高校
中井　美里	法	大阪府立和泉高校
原　杏奈	環境都市工	岐阜県立岐阜高校
宮本　紗衣	文	私立京都学園高校
村上　千紘	文	千葉県立佐倉高校
横山　侑里	外国語	私立高知学芸高校

戸田寛子様入賞おめでとうございます！！

第 51 回全日本女子弓道大会（中日本の部）四段・五段の部で準優勝されました。
関西大学体育会弓道部出身の OG が社会人になって実績を残されるのは、現役部員としても非常に誇らしくあります。

予選（一手皆中）
229 人から 31 人と、大半が予選通過できない状況のなか見事に一手皆中で通過

決勝射詰
・1 本目
31 人からさらに 14 人と約半分が敗退の中見事に的中
・2 本目
14 人から 6 人と入賞は 5 枠を競う
・3 本目
6 人から 2 人抜き 4 人にここでも的中し入賞確定
・4 本目
ここでも 2 人抜く中、見事に的中でここから 1 対 1 の熾烈な戦いが始まる
・5 本目
2 人とも的中
・6 本目
またも両者的中
・7 本目
またも両者的中
・8 本目
またまた両者的中
・9 本目
またも両者的中、すさまじい優勝争い
・10 本目
惜しくも抜いてしまったが、見事に準優勝

OBOG 関関戦

寺地 梨香様（H29 年卒部生）

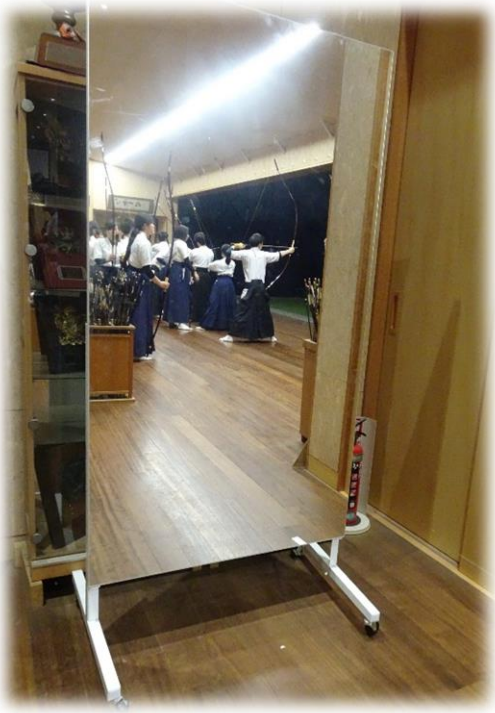
この度、関西大学弓道場に於いて行われました、第 41 回総合関関戦 OBOG の部に参加させて頂きました。先に行われておりました、現役生の部では、2 勝 1 敗で見事に関西学院大学に勝利し、私自身めでたい気持ちで OBOG の部に臨むことが出来ました。

引退してから久しぶりに弓を引いたので、的中するのかということよりも、上手く弓を引けるのだろうかという不安がありました。しかし、案外感覚は覚えているもので、自分が思っている以上に引けていることに驚きました。様々な緊張の中、男女混合のチームで試合が開始されました。半年以上ぶりの試合だったので、筋肉の衰えと手汗がとても凄かったです。

いよいよ始まった試合では、どのチームも的中を積み重ね、とても良い試合が行われました。私自身も、OBOG の方々に助けられながらチームの中でなんとか引ききることが出来ました。そして、チームとして入賞することができ、とても嬉しかったです。

現役の頃とはまた少し違う楽しい雰囲気の中で弓を引けるというとても良い機会でした。現役の頃からお世話になっている先輩であったり、仲良くしている関学の同期であったりと様々な人との関わりというものも感じることができました。その中で、関西大学と関西学院大学の長きにわたる繋がりの深さというものも再度感じることが出来ました。

社会人生活の中では経験することの無い事だと思いますので、機会があれば何度でも参加し、この素晴らしい伝統を長く繋いでいきたいと思います。

道場の風景

卒業記念として、弓燁会の方々から鏡を頂きました！
ありがとうございました。

練習形態

私たちは月曜日から土曜日の空きコマと放課後に練習しています。また、日曜日は基本的にオフとなっていますが、試合が入ることが多いので、その場合 翌日の月曜日がオフとなります。正規練習では立ちをとり、時間外練習では射込みをしています。立ちでは判付けによって、射込みでは各個人が毎日的中を記録し、週間的中率をまとめ部員全員が把握できるようにしています。

タイムスケジュール	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1限（ 9:00~10:20）	時間外練習					
2限（10:40~12:10）	正規練習					
3限（13:00~14:30）	正規練習					
4限（14:40~16:10）	正規練習					
5限（16:30~18:00）	時間外練習					
１８：００以降	時間外練習	メンバー練習	メンバー練習	メンバー練習	メンバー練習	メンバー練習

筋力トレーニング強化！！

新凱風館1階パワージムで、会の安定・基礎体力向上のため筋力トレーニングを行っています。パワージムは、米国8社から最新鋭のトレーニング器具がそろっています。また弓道部専属トレーナと現役部員が弓道に必要な筋力を分析し、メニューを作っています。そのメニューを週に1回以上は本格的にパワージムに通い筋力トレーニングを行っています。それによってより力強い射が完成することでしょう。

足立 拓馬(一)

吉田 智哉(二)

津田 純平(三)

石川 智大(四)

林 和輝(三)

澤田 達矢(三)

SPRING

関大弓道部 COLLECTION VOL.2

CORDE

角 朋香(二)

月浦 愛里(二)

坂田 陽子(四)

和氣 笑里(四)

奥野 早紀(一)

伊藤 未麗(二)

関大前ラーメンランキング

関大前～ラーメンストリート～では、日々疲れた弓道部員が羽を伸ばしています。数々のラーメンの中から弓道部人気ランキングを紹介します！

1位

武双家

弓道部堂々の第１位

濃厚スープは、無料のご飯にかけて食べると最高に GOOD！！

2位

豚人

駅前に漂う、スープの香り

麺の種類が豊富で替え玉し放題！！

一度ここのスープを飲めば、ほかの店のスープは薄く感じます！！

3位

きりん寺

飽きない味！

安定のうまさ！

合言葉を言えば卵をトッピングしてもらえます！！

プロフェッショナル

～仕事の流儀～

佐伯 優介（二）
～弓道部を支える、串職人～

的を貼り終わり、静かな的張り場に的串職人・佐伯優介の姿があった。
カッターナイフに竹刀の切れ端そこには、いつもとは違う雰囲気が広がっている。この日、佐伯は的串を作っていた。

――何故、的串にそこまでこだわるのですか？
佐伯:僕が入部した時は、的串の状態が酷かったんですよ。
――それにしても、ものすごくこだわりを感じます。
佐伯:的たての時に、まともに的を立てられなくて、ぼくが作れば良いと言う風になったんです。僕が作ったのも、最初は酷かったんですよ。

佐伯は、市販の的串よりも強度があり、使いやすさを兼ね備えた今の形が完成するまでに、様々な工夫を凝らしていた。
当時、的串は、竹刀の切れ端を黒テープで固定するだけであったが、佐伯は、そこに疑問点を抱いていた。
そこで、佐伯はおもむろに、黒テープの上から、紐を巻きつけた。
紐を巻きつけることによる効果は絶大であり、その結果、的串の耐久性が飛躍的に上がったからだ。
しかし、佐伯は問題点を発見していた。

――紐がほつれてしまい、使い勝手が良くないのではないか――

その事が、佐伯の頭を悩ませた。
しかしその問題も刹那、佐伯は、紐の上からボンドを塗る事で、問題を解決してしまった。

串職人・佐伯 優介（二）
佐伯は今日も、作業を続ける。
今、影の職人として、新たな地平を切り開こうとしている。

こだわりの弽

節抜き　林 和輝（三）

― 何故この弽に決めたか ―
堅い弽が苦手で、手首の柔らかさを求めていたところに、親指が自由で控えが牛革ではなく鹿革でできている弽を発見したから。
― 気に入っている所 ―
離れを出したときの親指の跳ねが非常によく鋭い離れが出る。また、柔らかいので 2 日で手になじんだ所

寛鋭　津田 純平（三）

― 何故この弽に決めたか ―
高校の時から気になっていたから
― 気に入っている所 ―
まず、差し心地が良く見た目が良い、また、帽子のつき方や控えがしっかりしている所

象水　中井 雄基（三）

― 何故この弽に決めたか ―
中学から五年間使っていた弽がボロボロだったので、顧問の紹介でこの弽を紹介された
― 気に入っている所 ―
つる溝が浅いので離れが出やすいところ

正澄　森 千都歩(二)

― 何故この弽に決めたか ―
斜面を引く先輩が、つる溝が一文字であり、帽子が真っ直ぐになっていて、上作以上になると縫い目もきれいで末長く使えるとお勧めしてくれたから。
― 気に入っている所 ―
弽を起こしやすいので、余分な力が無く引き分けができる所

書物

現在図書室にある本を
ご紹介します！

現代弓道講座
弓道講座
私の弓道理論
弓礼・弓法問答集
正しい射術を身に付ける弓道上達 BOOK
もっとうまくなる！弓道
DVD シリーズ弓道 パーフェクトマスター
技を極める 弓道
はじめての弓道
弓道教本
絵説 弓道 全
弓
尾州竹林流 四巻の書講義
至誠一箭
堂射
みんなの弓道
月刊弓道
弓道 基本と上達法
弓一筋
日置流道雪派六十五ヶ条の講述抄
歩射論集
初心者のための弓道
私の弓道理論
弓道入門
紅葉重ね・離れの時機
弓形くずさぬ良い形を保つ
克つための弓道
弓執る心

※記念誌および、大会パンフレットは割愛させていただきます。

弓道上達には知識は欠かせないもの
私たちの技術向上のために、不要な
書物があれば是非お譲りください。

平成 30 年度　戦績

・関関同立弓道選手権大会(2018 年度)

<男子>　団体準優勝　関西大学 A チーム　　<女子>　団体準優勝　関西大学 D チーム

第 3 位　　関西大学 D チーム　　準優勝　関西大学 D チーム

・関西学生弓道連盟記録会 100 射会(2018 年度)

入賞者なし

・関西学生弓道連盟記録会 40 射会(2018 年度)

第 3 位　坂田陽子　33 中

・大阪府学生弓道選手権大会(2018 年度)

<男子>　団体準優勝　関西大学 A チーム　　<女子>　団体入賞チームなし

個人準優勝　前原 俊介(二)　　個人第 3 位　岩本 真奈(三)

第 6 位　満壽 直毅(四)

・関西学生弓道選手権大会(2018 年度)

<男子>　団体入賞チームなし　　<女子>　団体第 3 位　関西大学 B チーム

個人第 7 位　岡田 将吾(三)　　個人準優勝　岩本 真奈(三)

第 10 位　満壽 直毅(四)　　第 5 位　吉仲 秋月(二)

・総合関関戦(2018 年度)

新人の部　関西大学　×59－61○　関西学院大学

女子の部　関西大学　○61－60×　関西学院大学

男子の部　関西大学　○140－125×　関西学院大学

・全国大学弓道選抜大会(2018 年度)

＜男子＞　予選敗退　　<女子>　予選敗退

・全日本学生弓道選手権大会(2018 年度)

<男子>　団体ベスト 8　　<女子>　予選敗退

個人第 5 位　宮坂 大成(四)

・関西学生弓道リーグ戦(2018 年度)

第一戦　男子　対同志社大学戦　関西大学　○126－94×　同志社大学

皆中者　津田 純平(二)

女子　対京都橘大学戦　関西大学　○64－54×　京都橘大学

第二戦　男子　対神戸大学戦　関西大学　○128－95×　神戸大学

皆中者　満壽 直毅(四)

女子　対大阪経済大学戦　関西大学　○65－56×　大阪経済大学

第三戦　女子　対天理大学戦　関西大学　○64－53×　天理大学

第四戦　男子　対桃山学院大学戦　関西大学　○138－78×　桃山学院大学

女子　対和歌山大学戦　関西大学　○64－54×　和歌山大学

第五戦　男子　対大阪大学戦　関西大学　○135－107　大阪大学

皆中者　岡田 将吾(三)　満壽 直毅(四)

・入れ替え戦　男子　対近畿大学戦　関西大学　○131－123×　近畿大学

関西学生弓道リーグ戦十傑

<男子>第 1 位　満壽 直毅(四)　<女子>第 2 位　岩本 真奈(三)

第 5 位　津田 純平(二)　第 4 位　鈴木 江梨香(一)

第 10 位　宮﨑 航一(四)

・第 64 回東西学生弓道選抜対抗試合(2018 年度)

満壽 直毅(四)、岩本 真奈(三)、鈴木 江梨香(一)が出場

・全日本学生弓道女子王座決定戦(2018 年度)

<女子>ベスト 4

二回戦　関西大学　○28-21×　信州大学

準決勝　関西大学　×27-30○　別府溝部学園短期大学

・大阪府学生弓道遠的選手権大会(2019 年度)

<男子>　個人準優勝　伊東 一至(二)　<女子>　個人優勝　和氣 笑里(三)

第 3 位　吉田 智哉(一)　準優勝　森 千都歩(一)

・関西学生弓道新人リーグ戦(2019 年度)

第一戦　シードのためなし

第二戦　対兵庫県立大学姫路支部　関西大学　○51－31×　兵庫県立大学姫路支部

皆中者　前原 俊介(二)

第三戦　対立命館大学　関西大学　○59－51×　和歌山大学

ブロック内決勝　対京都橘大学　関西大学　×86-6 － 86-10○　京都橘大学

・関関同立選手権大会（2019 年度）

〈男子〉団体優勝　関西大学Ａチーム　〈女子〉団体優勝　関西大学Ｂチーム

個人準優勝　津田 純平(三)

第 3 位　伊東 一至(三)

・大阪府学生弓道選手権大会（2019 年度）

〈男子〉団体準優勝　関西大学Ａチーム 〈女子〉団体　入賞チームなし

個人優勝　望田 凌史(三)　個人準優勝　奥野 早紀(一)

準優勝　中井 雄基(三)

第 3 位　津田 純平(三)

第 5 位　石井 樹　(二)

第 6 位　井上 裕文(二)

・四校練成（2019 年度）

〈男子〉団体優勝　関西大学Ａチーム　個人優勝　谷口 諒甫(二)

準優勝　関西大学Ｂチーム　第 3 位　増田 哲也(三)

・関西学生弓道連盟記録会百射会(2019 年度)

入賞者なし

・関西学生弓道連盟記録会四十射会

第 3 位　大前 美穂(三)　32 中

・第 63 回関西学生弓道選手権大会(2019 年度)

〈男子〉団体入賞チームなし　〈女子〉団体入賞チームなし

個人第 3 位　宮下 哲也(三)　個人第 3 位　和氣 笑里(四)

第 6 位　岡田 将吾(四)

2019 年度活動予定

前期

6 月 2 日(日)　　(男子) 京都橘大学　練習試合[於：本学]
6 月 8 日(土),9 日(日)　総合関関戦[於：関西学院大学]
6 月 16 日(日)　　(男子) 立命館大学　盟友戦[於：立命館大学]
　　(女子) 同立佛関選手権、同志社大学　定期戦[於：同志社大学]
6 月 23 日(日)　　(男子) 関西学院大学　練習試合[於：未定]
　　(女子) 立命館盟友戦[於：本学]
6 月 28 日(金)　　法政大学、近畿大学　練習試合[於：法政大学]
6 月 29 日(土),30 日(日)　　全国大学弓道選抜大会[於：明治神宮]
(仮)6 月 30 日(日)　　(男子) 大阪産業大学　練習試合[於：大阪産業大学]
　　(男子) 京都大学　練習試合[於：未定]
　　(女子) 佛教大学、龍谷大学　練習試合[於：龍谷大学]
7 月 7 日(日)　　全日本学生弓道選手権大会　個人予選[於：本学]

後期

8 月 4 日(日)　　(男子) 甲南大学　定期戦[於：本学]
　　(女子) 甲南大学　定期戦[於：甲南大学]
8 月 9 日(金)　　(男子) 京都橘大学　練習試合[於：京都橘大学]
8 月 11 日(日)　　(女子) 大阪経済大学　練習試合[於：本学]
8 月 14 日(水)～8 月 17 日(土)　　全日本学生弓道選手権大会
8 月 18 日(日)　　慶応義塾大学　定期戦 [於：未定]
8 月 19 日(月)　　明治大学　定期戦 [於：未定]
8 月 20 日(火)　　早稲田大学　定期戦 [於：未定]
8 月 21 日(水)　　(男子) 京都橘大学　練習試合[於：未定]
　　(男子) 大阪大学　練習試合[於：未定]
(仮)8 月 23 日(金)～8 月 29 日(木) 夏季強化合宿[於：玄武館]
(仮)9 月 8 日(日)　　リーグ戦第一戦
(仮)9 月 15 日(日)　　リーグ戦第二戦
(仮)9 月 22 日(日)　　リーグ戦第三戦
(仮)9 月 29 日(日)　　リーグ戦第四戦
(仮)10 月 6 日(日)　　リーグ戦第五戦
(仮)10 月 13 日(日)　　リーグ戦予備日
(仮)10 月 20 日(日)　　リーグ戦順位決定戦
(仮)10 月 27 日(日)　　入れ替え戦
(仮)11 月 15 日(金)～19 日(火)　　全日本学生弓道王座決定戦[於：伊勢神宮]

弓陵会総会

平成 31 年 3 月 14 日アヴィーレ大阪にて、平成 30 年度弓陵会総会を執り行いました。
司会は平成 28 年卒田中敏史様に勤めていただきました。
会長挨拶で齋藤会長よりお言葉を頂いたのち、齋藤会長の進行により議題に移りました。
第 1 号議案は、平成 30 年度事業報告及び収支決算について、弓陵会会計 杉岡茂孝様より報告して頂きました。会計監査 小川治彦様のもと、会員の皆様に承認を頂きました。
第 2 号議案は、平成 31 年度事業計画及び収支予算について、同じく杉岡茂孝様より報告して頂きました。収支項目に大きな変更はなく、例年通りの事業予算案を会員の皆様に承認を頂きました。
第 3 号機案は平成 30 年度弓道部活動内容及び戦線報告について、弓道部コーチ 宮本忠依様より報告して頂きました。出席頂いた会員の皆様より現役生の日常の練習や試合、部員についてなど多くの質問を頂き宮本コーチより応答頂きました。質疑応答を終え現役生の今後への期待が高まった後、田中敏史様の閉会の挨拶をもって総会を閉会いたしました。

Facebook のご案内

昨年 5 月より SNS の Facebook 内に弓陵会のページを立ち上げました。
現役生の活躍ぶりを、写真もふんだんに使いより身近に臨場感たっぷりにお伝えしております。
現在およそ 100 名の OBOG の方々に登録、利用頂いております。
Facebook のアカウントをお持ちの方は是非ご参加ください。
申請頂きましたら名簿で本人確認の後、承認させて頂きます。
また Facebook のアカウントをお持ちでない方はこの機会にアカウントを取得されてみてはいかかでしょうか。
Facebook 内での検索で【関西大学体育会弓道部弓陵会】と検索するとページが出てきますので、そこから参加申請してください。
お 1 人でも多くの方のご参加を心待ちにしております。

（管理人　堀田 雄介様　S61 年卒部生）

関大弓道部アーカイブ―エール―

Facebookで公開されている、エールについてのアーカイブをご紹介します。

《シングル？　ダブル？》
今現在ごく普通に行われているエールですが、当初は 1 人でしていたのをご存知でしょうか。

以下、齊藤会長からのメールです。
【当時、エールは1人で行うものでした。昭和47年3月高知合宿。2回生になる直前、辻(辻正近さん S50卒 齊藤会長と同期)が次期エールに抜擢されました。彼は毎晩夜間練習の後、谷口先輩(S49 卒 谷口寿彦さん)からのエールの引き継ぎを受けていました。合宿の終盤、合宿の打ち上げの宴会芸で2人エールをやろうと、おふざけで振り付けをして、合宿打ち上げで披露し笑いをとりました。
何故Wエールだったのか今考えると薄ら記憶の奥にウルトラマンが居り、おそらくウルトラマンシリーズのウルトラマンA(エース)がルーツではないかと思います。調べた結果 ウルトラマンAが放映されたのが昭和47年でしたので、予告編とかは年明けからやっていたのでしょう。 大学生でしたのでウルトラマンシリーズは視てなかったですが、ウルトラマンAは 2 人で合体変身する(北斗と南という男女)新しいタイプのウルトラマンで、Wエールの腕をクロスさせるのはウルトラマンAの変身シーンをパロって取り入れたと考えます。
合宿から戻り、次は4回生の卒業式後に道場で行う宴会で披露しました。 卒業生から『なかなかオモロイやないか』とうけました。その後、お酒の入る関東との定期戦や忘年会またOB との懇親会という宴会のみでWエールは発動しました。 昭和 50 年 3 月に卒業するまで、シングルエールが正式なエールで、Wエールは宴会芸でした。数年後、弓道部の会合に出席した際 Wエールが正式エールになっていて、辻と吹き出しました。
宴会芸が何時・何処から真面目な正式エールになったのか、自分も知りたいです。】

これに高松在住の辻さんが食い付いてきました。辻さん曰く
【1.正規版Wエールの誕生経緯については概ね正しいと思います。
2.忘れてならないのは、コンパ余興版Wエール。(どちらが先に出来たのかは忘れた)
3.正規版振付のヒントは、ウルトラマンもしくは仮面ライダーだが、余興版は「ドリフの8時だよ全員集合」の体操コーナーをヒントにした。
4.何がきっかけであったのかは忘れたが、合宿のある日、稽古の後の矢道で、夕食までの1時間足らずで出来たように思います。

5.その間、先輩や同期は、「またアホなことをやってる」と、冷ややかな目でみていたように覚えています。
6.翌日以降も弓の稽古の後にエールの稽古。
7.合宿最終日のコンパで、正規版と余興版を披露。
8.余興版は大受けしたが、あまりにもふざけた内容だったので、それ以降は封印！
9.正規版は、１年後輩に引き継いだように記憶している。
10.以後も連綿と引き継がれていることを知ったのは、50 周年か 60 周年の射会。
元祖版に比べて、更にブラッシュアップされ洗練された振付になっており、感動した。
11.来年、男子の王座出場祝賀会があれば、会長と「秘伝のコンパ余興版」をご披露します。
以上】

それを受けて齊藤さん曰く
【上記の 3 に関し、ウルトラマンＡに加え、仮面ライダー１号２号のダブルライダーの戦闘準備で腕をクロスさせる動きが入ってるな。 引き継ぎで、OGW 氏(名誉の為仮名(笑))の覚えが悪かった記憶があるぞ。創部以来一部リーグ（6 校時代）継続の時代。入れ替え戦の経験もなければ、優勝争いも無い時代。最高三位、最低五位。あまり復活したくない技だな。】
と復活に前向きな辻さん、ちょっと戸惑い齊藤さん(笑)。

私達昭和 61 卒生が１回生の時には既にダブルでしたのですっかりダブルが根付いていたと思われます。
私自身も何度となく忘年会、卒部式、祝勝会等に参加させてもらっていますが、代々伝わっていく度にまるで伝言ゲームの如く変化してゆく様は若干の違和感と進化の過程を見ているかの発見があって面白いです。そのうちに更なる進化系でトリプル、フォースなんてのも出て来るやもしれませんね。
辻さんが条件付きで復活宣言をぶっ放して下さいました。 齊藤会長は私が説得します。
男子が王座に行けるように OB 皆さんの結束、応援をよろしくお願いいたします(大笑)。

～Facebook「関西大学体育会弓道部弓陵会」より引用～
（堀田 雄介様　S61 年卒部生）

『基本を大切に』

私が普段の稽古で心掛けている事は、「射法八節」と「ねらい」である。
現役部員の皆さんにも普段の稽古から「射法八節」を丁寧に、確実に行って欲しい。丁寧、確実とは弓道教本にあるように、一つひとつの動作を心に銘じながら所作を行う「生気体」で行うということである。
高段者でも「残心」が無く「離れたら終わり」という人が多い。本座に立った瞬間から引き終えて出てくるまで「生気体」で稽古に取組んで欲しい。
「ねらい」は的中の基本である。定期的にねらいを確認する習慣をつけて欲しい。間違ったねらいで射を修正しても意味が無い。
基本に忠実に、とは簡単そうで難しいが、そんなに難しいことではない。部員同士で見合ったり注意し合えるからである。
今後の稽古に少しでも役立てば幸いです。

錬士五段　長安 博之様（H2 年卒部生）

『卒業後も弓道に励む OBOG 紹介』

1974 年（S49）3 月卒 谷口寿彦先輩。1952 年（S27）3 月生まれ。
卒業時の段位二段。現役時代的中率 5 割。レギュラー経験あまりなし。卒業後、地元鳥取の銀行に就職。
銀行退職後の第二の勤務先が日本で数少ないレコード針製造の会社で、2014 年（H26）12 月に和風総本家で紹介され谷口先輩が大きく取り上げられた。たまたま一年後輩の辻氏と齋藤がテレビで発見し、懐かしさもあり電話をした。その際、弓の再開約束を強引にさせられた。
翌 2015 年（H27）3 月 63 歳の誕生日を機に弓を再開。しかし鳥取県は斜面が皆無で、ほぼ独学での 1 人稽古の毎日だった。正しい斜面を勉強するため、浦上同門会大阪支部に入会し、年 4 回程鳥取から大阪に出向き斜面を修練。翌 2016 年（H28）には参段、2017 年（H29）には四段取得。
2019 年（R1）5 月 15～17 日に S49・S50 卒の 5 名が、関関戦 OB 戦対策用の高知合宿を実施。参加者の中で一番低段位にもかかわらず、2 泊 3 日の合宿で安定的に的中率 7 割 5 分をキープ。おまけに合宿終了の翌日 18 日に行われた香川県での五段審査を受験し、甲矢・乙矢とも束中し見事合格。
谷口先輩は今 67 歳です。20～22 歳頃的中率 5 割だった人が、今程よく枯れ力まなくなったのか、無理のない離れで 7 割 5 分を中てる。
何か人生のあり方を教えられるようです。

齋藤 憲様（S50 年卒部生）

訃報

S30 年ご卒部　廣瀬 隆之 様

昭和 28 年憧れの関西大学に入学して、同好会から部に昇格した直後の弓道部に入部。数週間後主務の廣瀬隆之先輩から、「おい、サブマネをしてくれ」と指名されてから、先輩の卒業までの 2 年間主務としての修行は始まった。

先輩の腰巾着で常に行動して色々なことを学び、あれこれと教えを受けたものだった。

先輩のモットーは、主将をはじめ部員たちに何の心配もなく、勝つための練習に専念してもらうことであり、そのためには内外の雑用はマネージャーが担当するべきであり、その努力を忘れることなく、全力を尽くすことである。

その信念から創部して間もない弓道部は山ほどの仕事があり、連日のように 2 人で出かけ、関大当局には新道場の建設の嘆願に。

そして旧弓道部先輩名簿などを依頼。

大阪府連には、監督・コーチの人選の依頼や合宿のための候補地など種々の問題を頼みまくり、一つ一つの問題を解決していったのは、廣瀬先輩がいたからの快挙といえるだろう。

２年間で主務として仕込まれたことは、以後の私の人生の中でどれだけ役立ったかを考えると、ただ感謝する他は何もない。

昨年、冥界に旅立たれたのは残念だが、ご冥福を祈るしかない。

S32 年ご卒部　田中 大二 様より

御礼の挨拶

拝啓　風薫る初夏の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

諸先輩方には日頃より多大なる御支援、御恩情をいただきまして、誠に有難うございます。
深く御礼を申し上げます。

さて、昨年度の女子王座出場、男子一部リーグ昇格にあたりましては、多数の皆様より多大なる御支援と御協力を賜り、祝勝会を開催していただき誠に有難うございます。
女子は二年ぶりの王座出場、男子は悲願の一部リーグ復帰を果たすことが出来ましたのは、ひとえに、日頃からの弓陵会の皆様の御支援と御指導の賜物であると、深く感謝しております。
また、女子王座出場の際は、弓陵会からの多大なる御支援を賜り、誠に有難うございました。

お近くまでお越しの際は、是非道場へお立ち寄りください。部員一同心よりお待ちしております。

弓陵会の皆様に御支援いただいたおかげで、毎年の遠征や練習環境の改善を行うことが出来ており、より一層日々の稽古に励むことが出来ております。
今年度は目標に、男女共に一部リーグ復帰、王座優勝、公式戦全タイトル制覇を掲げています。そのため、部員一同一丸となり、この目標を達成できるよう全力で臨む所存です。
諸先輩方のご期待に添えますよう日々努力していきます。
何卒、今後とも御指導御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のご健康とご多幸を心より申し上げます。

敬具

関西大学体育会弓道部
主将　岡田 将吾

弓具の寄贈ありがとうございました！

昨年度は、S62 年卒高橋様、H27 年卒今井様からたくさんの弓具を寄贈していただきました。お譲りしていただいた弓具は、下回生を中心に使用させていただいています。

ご不要の弓具をお譲りください！！

今年度もご不要の弓具をお譲りください。現在関西大学体育会弓道部では、
約 100 人の部員が毎日練習に取り組んでいます。今年度も新入生が
関西大学体育会弓道部に入部します。
的や巻き藁、大的など多くの消耗品が不足しています。

もし、不要なものがございましたら、ご連絡ください。
いつでもお待ちしています。

克己Ｔシャツ等の販売について

今年度も昨年同様克己Ｔシャツの販売を行うこととなりました。
『克己』とは、師範森川先生がお書きになったもので、現役生は、練習、試合のときに着用しています。
購入を希望される方は、申し込み申請書に希望枚数、サイズ、御名前、送付先の御住所、連絡先を書き込んだ上で、関西大学体育会弓道部宛に代金とともに郵送してください。

締め切りは、７月２日必着です。

代表者 主務　服部 美咲

購入申込書

購入枚数　克己Ｔ＿枚　（S・M・L）関大上衣＿枚（S・M・L）統一ジャンパー＿枚（S・M・L）

御名前：　　様
御住所：〒　　―

連絡先：

編集後記

広報部長

商学部

三回生

宮下　哲也

弓陵だよりを読んでいただきありがとうございました。弓陵だよりも今年で第五版になりました。楽しんでいただけましたでしょうか。毎年、手探りではありますが楽しく読んでいただけるよう工夫しております。今年は、現役生の私たちが感じたリアルな状況を感じていただけるように、工夫して編集しました。最後になりますが、弓陵だより第五版を発行できたのは皆様のご支援、ご協力のおかげです。皆様に厚くお礼申し上げます。

今後も、男女共々王座優勝を目指し日々活動をして参りますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

会報委員

四回生　服部 美咲
三回生　澤田 達矢　前原 俊介　宮下 哲也　吹田 実優
二回生　谷口 諒甫　吉田 健悟　角 朋香　月浦 愛里

HP；http://kandai-kyudo.jp/
Twitter; @kandai_kyudo

試合、行事などホットな情報を更新しますので、是非ご覧ください！！

転居等、去年からの 1 年間で住所や連絡先の変更があった場合は、お手数ではありますが、お名前、卒業年、変更後の住所（連絡先）を記載した上で下記のメールアドレスまでにご連絡をお願いいたします。

メール；kansai.u.kyudo@gmail.com